

施 工 要 領 書

植生シート

(肥料袋無 1重織ネット)

張芝トップ，張芝エコトップ，
張芝チップス，張芝グロウス 等

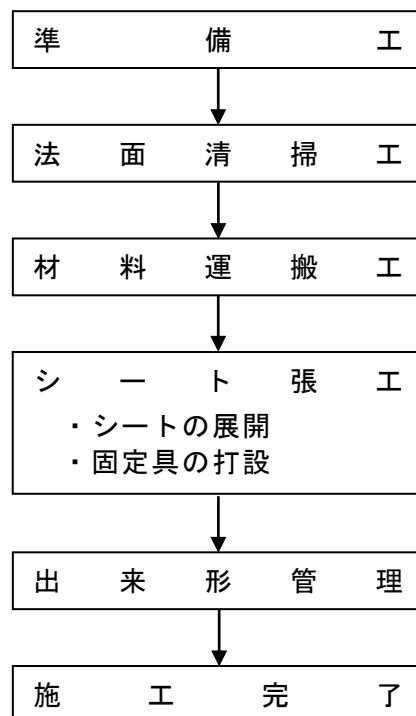
令和5年版

1. 概要

本書は、植生シート（肥料袋無 1重織ネット）【以下、シートと略】の施工要領についてまとめたものである。

シートの施工にあたっては、可能な限り法面にシートを密着させるよう施工することが大切である。

2. 施工フロー



3. 施工手順

1) 法面清掃

施工の支障となるかぶりや浮石、その他の雑物を除去する。

2) 材料運搬

シート、固定具を施工箇所に運搬する。運搬は、作業道を使つての小運搬またはロープによる荷揚げ等によって行う。

3) シート張工

- シートをネットが表面側、種子を装着した紙状シートが地山側、ネットの編目が水平になるように展開する。法肩部のシート巻込みは、20 cm程度を目安とする（法面条件による）。

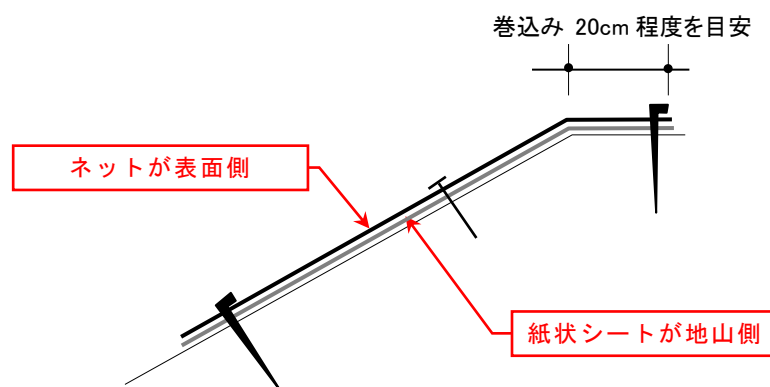


図 1. シートの展開

- 固定具を所定の位置に打設し、シートを法面に固定する。この際、シートと地山が可能な限り密着するように留意して打設を行う。

そのためには、シートを一気に展開せず足で保持しながら（シートを張った状態にすると密着性を確保しにくい）、順次法尻方向に向かって固定具を打設してゆくのが望ましい。また、法面の凹凸によりシートの浮き上がりが予想される箇所については、増し打ち等を行うのが望ましい。

- シートの重ね合せは、縦方向に 5～10 cm程度、横方向に 2～5cm 程度（シートとシートの間に隙間が生じないこと）を目安とする。

特に縦方向の重ね合せは重要であり、法肩側のシートが必ず上にくるような形で設置を行う必要がある（図 2 参照）。これは積雪害その他の影響により、シートのはがれ等を防止するための処置である。

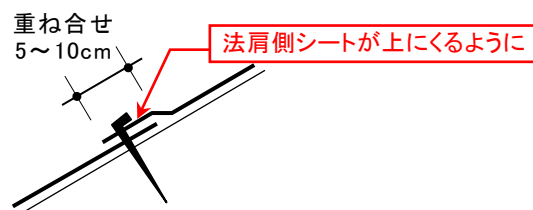


図 2. シート縦方向の重ね合わせ

4. 施工管理

1) 保管

シートは水溶性の素材や種子等を装着しているため、現場内での保管には十分注意する。直射日光や雨水が当たらない場所で保管し、高温多湿の環境にならないよう留意する。

2) 出来形管理

出来形管理については、発注者の検査基準に準ずる。基準がない場合には、シートの敷設完了後、出来形管理として固定具の打設本数を測定する（頻度については、発注者と協議の上、決定する）。なお、法肩部や重ね合せ部等において、固定具の仕様や打設本数が異なる箇所がある場合には、必要に応じて別途検測を行うのが望ましい。

以 上